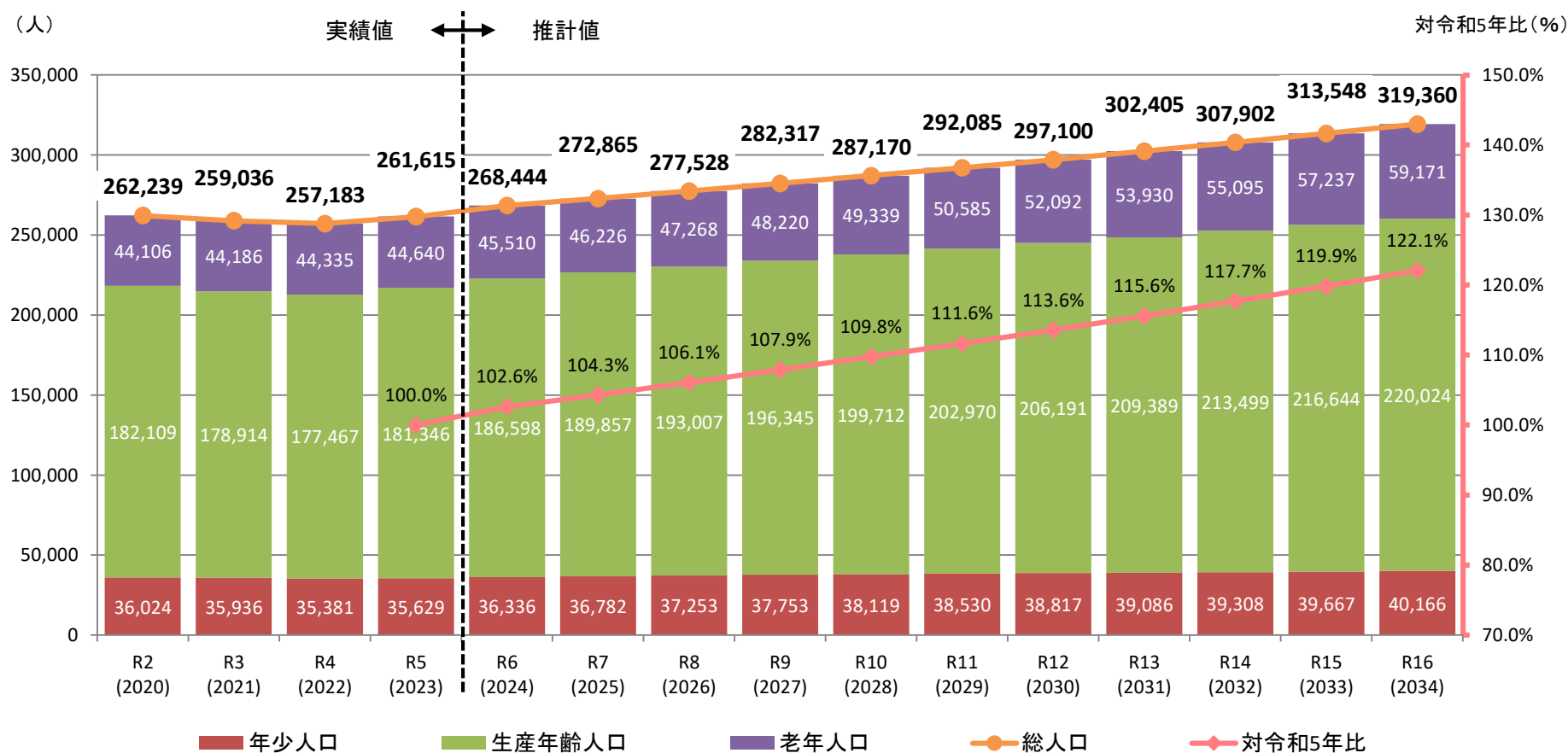


港区における人口の動向

- 令和元年以前から増加を続けていた港区の総人口は令和2年5月の262,239人をピークに減少し令和4年1月には257,183人に。
- その後、再び増加傾向となり、令和5年3月には262,504人まで増えて令和2年5月時点の総人口よりも多い水準に回復。
- 港区人口推計（令和5年3月）では、年少人口、生産年齢人口及び老年人口のいずれの年齢区分においても人口が増加する見込み。
- 令和5年1月以降も増加傾向が継続し、本計画の最終年度である令和9年1月には約28万人になる見通し。
- 令和16年には、年齢3区分別人口で対令和5年比の増加率をみると、老年人口が132.6%（年少人口112.7%、生産年齢人口121.3%）で最も大きくなる見込み。



注) 令和2年のみ5月1日時点の人口、他の年は1月1日時点

出典: 「港区人口推計（令和5年3月）」及び住民基本台帳に基づく人口データを基に作成